

ひふみのあゆみ



ひふみワールド

ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

2023年9月度 月次ご報告書

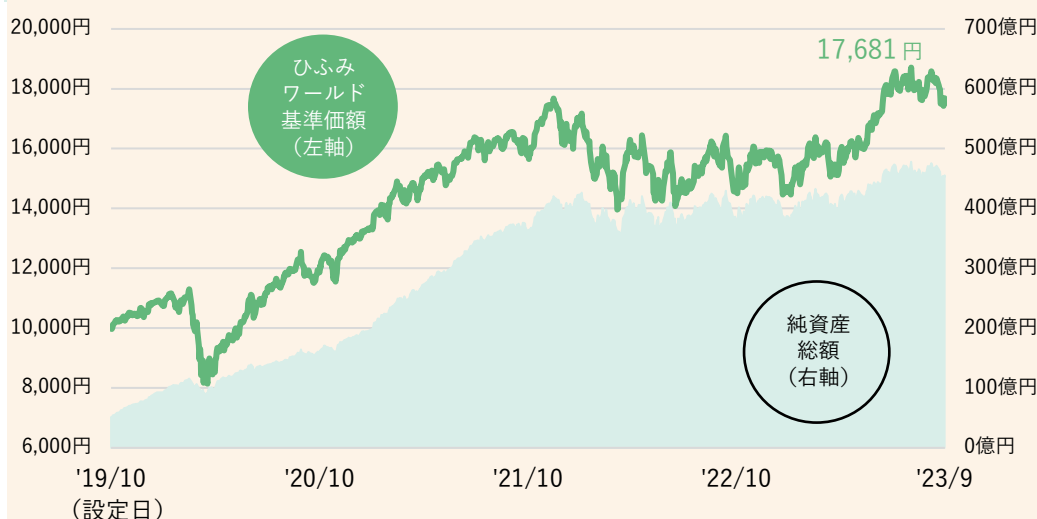
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2023年9月29日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、アメリカには米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	-3.78%	-3.71%	11.28%	21.09%	49.99%	76.81%

ひふみワールドの運用状況

基準価額	17,681円
純資産総額	455.20億円
受益権総口数	25,746,016,792口

ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	99.92%
現金等	0.08%
合計	100.00%

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -695円

〔内訳〕

株式・投資証券	-981円
アメリカ	-822円
欧州	-144円
アジア・オセアニア	-15円
その他	+0円
為替	+306円
米ドル	+333円
ユーロ	-20円
香港ドル	+5円
その他	-12円
信託報酬・その他	-20円

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第4期	2023年2月	0円
第3期	2022年2月	0円
第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください



資産配分比率などの状況

ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 2,705.98億円

組み入れ銘柄数 164銘柄

資産配分比率

海外株式 94.22%

海外投資証券 1.97%

現金等 3.82%

合計 100.00%

時価総額別比率

10兆円以上 40.35%

1兆円以上10兆円未満 43.87%

3,000億円以上1兆円未満 10.73%

3,000億円未満 1.23%

組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 68.93%

2 ドイツ 4.65%

3 イタリア 4.22%

4 イギリス 2.64%

5 スイス 2.24%

6 フランス 2.20%

7 台湾 1.81%

8 オランダ 1.72%

9 アイルランド 1.64%

10 中国 1.42%

組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 77.80%

2 ユーロ 8.81%

3 イギリス・ポンド 2.36%

4 スイス・フラン 2.24%

5 デンマーク・クローネ 1.31%

6 香港ドル 0.99%

7 ノルウェー・クローネ 0.83%

8 台湾ドル 0.70%

9 中国元 0.66%

10 スウェーデン・クローナ 0.37%

組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 18.21%

2 半導体・半導体製造装置 16.12%

3 資本財 11.17%

4 自動車・自動車部品 8.30%

5 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 7.02%

6 ヘルスケア機器・サービス 4.39%

7 食品・飲料・タバコ 4.17%

8 メディア・娯楽 4.14%

9 一般消費財・サービス流通・小売り 3.97%

10 商業・専門サービス 2.52%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
	(銘柄名カナ)	銘柄紹介			
1	FERRARI NV (フェラーリ) 高級スポーツカーを設計・製造。高単価・少量生産のニッチラグジュアリーブランド。個別の顧客ニーズに合わせたカスタマイズ製造が特徴的。景気後退局面でも超富裕層のニーズは底堅く推移。	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	3.71%
2	INTUIT INC (インテュイット) SMB（中堅・中小企業）や個人、プロ（会計士や税理士など）向けの業務用会計ソフトでは高い認知度を誇り、確定申告ソフトのTurboTaxは米国ではよく利用される製品のひとつ。この数年はクラウド型ビジネスへの移行にリソースを集中させ、大きく業績基盤を拡大。	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.23%
3	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG (ボルシェ) 高級スポーツカーを設計・製造。大手自動車グループフォルクスワーゲン社の傘下にあったが、2022年9月に独立・上場。フェラーリやランボルギーニなどの超高級・ニッチラグジュアリーブランドと比較すると若干低単価・大量生産というポジショニング。台当たり単価に加え車両数量を通じた成長を目指す。	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.13%
4	PALO ALTO NETWORKS, INC (パロアルト・ネットワークス) ネットワークをサイバー攻撃から保護するセキュリティプラットフォームを手掛ける。顧客はグローバル企業、政府公共機関、医療機関などの大手が中心だが、最近では買収を積極的に行ないSMB（中堅・中小企業）市場の開拓を拡大中。	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.05%
5	AMAZON.COM, INC (アマゾン) 本、家電から食品まで取り扱う世界的なネット通販企業。実店舗の試験的な運営に加え、米スーパーマーケットチェーンのホールフーズを買収するなど、インターネットと実店舗の両方で成長を目指す。クラウドコンピューティングサービスであるAWSも収益の柱。	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	1.98%
6	ORACLE CORPORATION (オラクル) 世界的なデータベース管理やERP等のソフトウェア開発企業。企業や政府のデータベースや基幹システム市場において高いシェアを有する。M&Aも積極的に手掛けながら事業拡大を行なっている。	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.95%
7	INTEL CORPORATION (インテル) PC向けでは高いシェアを持つ最大手半導体メーカーのひとつ。ノンコア事業の整理や製造工程の見直しを含む構造改革に着手している。PC需要の回復やAI向け半導体を含めたデータセンター向け需要の取り込みに向けた取組みに期待。	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.94%
8	DELL TECHNOLOGIES INC (デル・テクノロジーズ) 企業向けに強いコンピュータメーカー大手。モニターからサーバーまでIT環境全般を幅広く取り扱う。オフィス復帰に伴うPC需要底入れ、AI向けサーバー事業の拡大、株主還元を期待。	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.91%
9	EMERSON ELECTRIC CO (エマソン・エレクトリック) 電子・電気機器、ソフトウェア、システム、サービスの設計・製造等を手掛けるコングロマリット企業。積極的なM&Aを行ない多岐に渡る製品や技術サービスを世界の工業、商業、一般消費者向けに提供している。	アメリカ	米ドル	資本財	1.81%
10	THE HERSHEY CO (ハーシー) 米国の大手菓子メーカー。高価とは言い難い価格設定と、高いブランド忠誠度が合わさって、原価の上昇以上に販売価格を引き上げても高い需要が維持できる稀有なブランド。	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.71%

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

銘柄紹介（2023年6月30日時点）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	3.60%
2	PALO ALTO NETWORKS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	3.49%
3	ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.73%
4	AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	2.63%
5	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.49%
6	INTUIT INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.37%
7	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	ユーロ	半導体・半導体製造装置	2.22%
8	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.19%
9	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.13%
10	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.11%
11	SERVICENOW INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.78%
12	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.76%
13	NETFLIX, INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.70%
14	APPLE INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.60%
15	SENTINELONE, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.59%
16	THE HERSHEY CO	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.54%
17	BILL HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.49%
18	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING-ADR	台湾	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.46%
19	WOLFSPEED, INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.40%
20	TESLA, INC	アメリカ	米ドル	自動車・自動車部品	1.37%
21	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.29%
22	TEXAS INSTRUMENTS INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.28%
23	DECKERS OUTDOOR CORPORATION	アメリカ	米ドル	耐久消費財・アパレル	1.21%
24	ASML HOLDING NV-NY REG SHS	オランダ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.19%
25	APPLIED MATERIALS, INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.16%
26	O'REILLY AUTOMOTIVE, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	1.10%
27	MANHATTAN ASSOCIATES, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.09%
28	EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.06%
29	MICRON TECHNOLOGY, INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.06%
30	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	スイス・フラン	耐久消費財・アパレル	1.03%

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。
 ※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。
 ※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 -4.57%

米ドル／円の推移



当月騰落率 +2.31%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 -1.15%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 +2.58%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを基に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



2023年9月の世界の株式市場は、8月に引き続き下落しました。前半から19日～20日にかけて開催されるFOMC（連邦公開市場委員会）を控えて上値の重い展開が続いていました。FOMCでは市場予想通りに利上げは行なわれなかったものの、年末に向けてはもう1回の利上げ予想実施が据え置かれたのみならず、来年末の金利水準がこれまでの想定よりも高いものにとどまる見通しが示されるなど、想像以上のタカ派（金融引締め派）見通しが示されました。これをきっかけに長期金利が急上昇し、株式市場も売り込まれる展開となりました。

米国の利上げ開始が示唆された2021年後半の時点では、2022年には利下げが始まると市場は想定していましたが、その想定は実現しませんでした。また、2023年後半には利下げが始まるとの想定も実現しませんでした。現在、市場は2024年には利下げが始まると想定しており、利下げ想定がどんどん後ずれしています。市場参加者の中でも株式市場の参加者はとにかくせっかちで、先を見据えて動く傾向があります。株式市場の参加者の多くは来年の利下げ、ソフトランディング（不況に陥らせることなく物価上昇の抑制に成功すること）を前提に、安定的な物価で堅調な経済が戻る想定で2023年は株式を買い進めてきました。しかし、今の米国の政策当局者は以前のような先を見越したスタンスではなく、足元のデータをより重視しています。物価上昇圧力が完全に抑制される前に、株式市場の参加者が先走って株を買い上げて、資産効果によりむしろ物価上昇圧力が強まりかねないことを、政策当局者は苦々しく見ているでしょう。

持続的で広範囲なより力強い相場の上昇は、物価の安定がかすかに見えてきたときに来ると我々は考えています。短期的な上下には一喜一憂せず、その時に輝く銘柄を探して、日々企業との対話を含めた調査活動を今後も続けてまいります。これからもレオス・キャピタルワークス並びにひふみワールドをよろしく願いいたします。

(10月2日)



代表取締役副社長
最高執行責任者
ひふみワールド運用責任者
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



米欧の物価減速、利上げ終了も高金利維持姿勢？

世界株にとって金利上昇が重石、転機探る局面へ

9月の世界株は、相対的に堅調であった日本や米国株も含めて後半、調整色が強まりました。主因は、米FOMC(9月20日)における今後の政策金利(FFレート)見通しの上方修正(2024年の利下げ時期の後ズレ観測など)を契機に、米国をはじめとする世界的な金利上昇にあったとみられます。加えて、10月からの米連邦政府機関の一部閉鎖懸念も重石になりました(土壇場で閉鎖回避)。米国の長期金利の上昇は株価調整の他、為替市場でドル高の牽引役になりました。

今後、10~12月期の投資環境面では、米国やユーロ圏の物価減速が鮮明化し、下げ渋り気味であった「食料品・エネルギーを除いたコア物価」も減速基調を強めそうです。米国やユーロ圏の金融政策は物価減速を受けて、利上げ終了(打ち止め確認)となるのか、予防的にあと一回利上げを行なうのかが注目されます。市場では「政策金利を十分に抑制的な水準に引上げ、利上げは終わった可能性が高いものの、特に米国では強すぎる景気や、物価が十分に抑制されるまで現在の高金利を維持するステージにシフトしたのではないか」との見立てです。一方、日本は景況感の改善やデフレ脱却ムードが広がっているとみられますが、9月の日銀会合や植田総裁の記者会見などからはイールドカーブコントロール(YCC)をはじめとする超緩和策の修正を急いでいられないように見受けられます。10~12月期の日銀金融政策は現状維持の可能性が高そうです。また、主要国の名目・実質金利の動向からすると、為替はドル高、円安基調が続きそうです。

企業収益面では、米国S&P500種の予想EPSは2023年4~6月期ボトムに回復見通しです。日本(TOPIX)の予想EPSは相対的に堅調で上方修正余地がありそうです。9月調査の日銀短観では大企業非製造業の業況判断が32年ぶりの高水準を示すなど景況感は総じて堅調です。直近発表となった8月の世界半導体出荷額からは2023年上期を大底に下期以降回復局面に入っているとみられますし、フィラデルフィア半導体株指数(SOX)のEPSは23年4~6月期をボトムに7~9月期以降、アナリストコンセンサス予想で回復・拡大局面入りです。生成AI(人工知能)など新しい技術革新に支えられたイノベーションサイクルの拡大は世界経済の支援・押し上げ要因になりそうですが、一方、米欧をはじめ主要各国の大幅な利上げや長期金利の上昇は景気の下押し要因になります。世界経済に対するこれらプラス、マイナス要因が相殺される形で成長モメンタムは減速基調とみられますが、産業別には明暗分かれる二極化の様相が強まりそうです。

米国株をはじめとする世界株は、金利上昇などを嫌気する形で調整相場、「中間反落(一時的な調整局面)」にあると推察されます。すぐにとは言えませんが、2023年度下期(10~3月)の6ヵ月間に主要国の物価減速と利上げ打ち止めが明確になる可能性が高く、そうなれば、株価調整の主因になっている「長期金利の上昇」はピークアウトし、金利低下に転じるとみられます。世界株にとっては朗報になるでしょう。一方、リスクは米国(FRB)の金融政策が過剰引き締めに動き、景気後退(オーバーキル)に陥るケースです。

(10月3日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

好きな家事は何ですか？その理由と、何かエピソードがあれば教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

好きな家事は皿洗いです。しかし私が皿洗いをすると妻に再度洗われてしまうのが悲しいところです。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
最高執行責任者

お洗濯が好きです。日差しがあり、風がそよぐ日のお洗濯は大好きです。春から夏、今もそうですが屋外に干すと太陽のにおいがして好きです。食器洗い、おトイレ掃除、お風呂掃除などなど身の回りを綺麗にすることはなんでも好きです。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

掃除と片付けが好きです。進捗と改善していくさまが目に見えるので、確実に達成感が得られるのがご褒美になりますね。皿洗いも好きですが、割ると家人に怒られるので気を使います。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
運用副本部長
シニア・アナリスト

好きな家事はないですがやる必要があるので、なるべくポジティブな理由を作り、家事は楽しいと自己暗示をかけながらやります。お掃除ロボットのルンバ君も頑張ってくれます。すべての家事から解放される日が待ち遠しいです。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

母親から「これからの男は家事育児に係われないとダメよ」と言われ、色々仕込まれたのでワンオペもこなせます。1番好きな家事は冷蔵庫や保管庫にあるもので献立を考えて家族の食事を作って片づけをしてキッチンリセットまでやって綺麗になったキッチンを見ることがです。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

好きな家事は有りません。独身時代は家で料理はせずすべて外食か弁当、洗濯に関わる負担を減らしたいがために、20代の若い頃から全自動洗濯乾燥機を買ったりクリーニングを活用、掃除の負担を軽くするために狭いフローリングの部屋に住みクイックルワイパーでどうにかなる程度の生活をするなど、家事を最小限にすることしか考えていませんでした。

運用メンバーからのメッセージ



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

掃除、洗濯、皿洗い。これらの家事をしながら、特定企業に寄らない俯瞰的な業界分析動画を流し聞きすると、企業調査の嗅覚が養われる気がします。料理は頭を使うので苦手です。



Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

トイレ掃除です。床掃除はルンバがやってくれるので、トイレは私の担当です。トイレ掃除をすることで自分の心や気持ちまでキレイになった気持ちになります。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

自分でご飯を作ることが好きです。レシピを頭に入れて、作る順番を工夫し、徹底的に調理のリードタイムを短縮します。美味しく、あまり頭を使わずに作れるようになるまで、何日も連続で作ります。買い物に行く間、効率的な調理方法を考えたり、よりよい食材の組み合わせを探索したりと、食べている・作っている時間以外もワクワクできるところが気に入っています。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

水まきは毎日やっています。お好み焼き、天ぷら、すき焼きは私が担当してつくりますが、結構美味しいです（あまり回数は多くありませんが）。クイックルワイパーでの床掃除は週2回くらいやります。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
ファンドマネージャー
兼マーケットエコノミスト

散布するだけ、みたいな掃除（用品）が好きです。疲労せず綺麗にできる便利アイテムが増えてほしいですね。

収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

ひふみのおすすめのコンテンツをご紹介します

過ごしやすい気温になって自然と外に出る機会が増えてきそうです。
 そんな移動中にもご覧いただける「お金のまなびば！」の新作動画をご紹介します！
【そこにあるモノ、見えない仕事】 **【キョロキョロ投資散歩】**



商品の企画から消費者に届くまでの「見えない仕事」を深く掘り下げていく新企画！「そこにあるモノ、見えない仕事」。
 今回は春日井製菓 マーケティング部 山根さんをお呼びして、グミにまつわる「見えない仕事」について迫っていきます！
 ①売り上げが前年度の20%増！？知られざる「グミ」業界の裏側とは・・・
 ②業績が伸びている企業に投資する際、プロは〇〇を見ている！？



身の回りに隠された投資に有益な情報をクイズ形式で紹介！
 当社 ファンドマネージャー 大城と内藤が詳しく解説していきます。
 ①昔ながらの商店街に現れた新しいお店とは？
 ②人との出会いもデジタル化！？街中で見られるデジタル化の波とは？
 ③画期的な配膳？自動化されていく飲食店の変化とは
 ④東京駅である変化が企業の人手不足解消に！？

ひふみ公式LINEアカウント



「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらからLINEお友だち登録をお願いします

またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなる、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の不整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまでお客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式	追加型投信／内外／資産複合
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。		換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628% (税込) を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078% (税込) を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して 年率0.55% (税込) を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して 年率0.0022% (税込) 実質的な負担※：純資産総額に対して 年率0.5522% (税込) 程度
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。			
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 受託会社：(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社
 (ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社
 (ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社
 販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先


 RHEOS CAPITAL WORKS
 レオス・キャピタルワークス株式会社
 コミュニケーション・センター
 電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
 受付時間：営業日の9時～17時
 ウェブサイト：https://www.rheos.jp/